

WAKE UP TO LEAD



"Quality of Leadership®"



組織が自ら
動き出す

コーチングをベースにしたソリューション

WAKE UP

“Quality of Leadership®”

リーダーの
意識が
進化する

「個人」と「組織」の“Quality of Leadership®”が高まる

ウエイクアップのアプローチは、
個人と組織が本来もっている可能性を信じて
対話を重ねていくコーチングがベースになっています。
「本当はどうしたいのか？」
「自分(たち)が本来もっている可能性は何か？」
といった本質的な問いと共に、
個人や組織が自分たちで変革に向けての行動を起こし、
“Quality of Leadership®”が高まることを支援します。



ごあいさつ

ウエイクアップの成り立ちは2000年のCTIジャパンの設立がスタートになります。榎本英剛がCTIのコアアクティブ・コーチング®コースを日本で開催したいという思いが始まりでした。

榎本のあとを引き継いだのが島村仗志です。島村が就任したときに抱いた思いは、CTIのコアアクティブ・リーダーシップ®・プログラムを日本で開催したいということでした。2006年にその思いは実現しました。その後、コアアクティブ・コーチングを企業で使いたいという卒業生の思いを受け、The Leadership Circle®や、ORSC®**プログラムを日本に導入しました。

そして2021年、島村から私たちに引き継がれました。平田ではなく、私たちと書いたのには意味があります。私たちウエイクアップが大事にしている思いとして、「一人でやらない」という考え方があります。「組織や社会を変革したい」といった思いをもっていたとしても、一人では変革はできません。そこにいる多くの人を巻き込むことで変革は成り立っていくのです。ウエイクアップはフラット組織として経営陣だけではなく、ウエイクアップの事業に思いのある人が参画する仕組みを創っています。

私たちが事業を進めていくときの合言葉が「Let's Talk」です。これまでお互いの考えや思いを対話することにより、事業を展開してきました。また、実際の事業内容も協働のための対話にな

ります。

私たちが提供しているものは、コーチングを主としての人材開発や組織変容®ですが、目指すところはすべての人がコーチになることではありません。本来人や組織がもっている可能性を探求し、意識の変化を起こすことによりその可能性を拓き、実際に活用できるようにすることです。

そして、私たちの願いは、誰もが人や組織の可能性を尊重し、力を発揮できることを応援する社会や組織を創ることです。

大きな思いを書かせてもらいましたが、ウエイクアップだけではこのような社会や組織を創ることはできません。私たちにできることは、そこに向けて進んで行くことであり、1人でも多くその仲間を増やしていくことだと思っています。そして、少しでも同じ思いをもった人たちと出会える日を、そして協働できる日が来ることを楽しみにしています。

*The Leadership Circle®: <https://leadershipcircle.com>

**ORSC®はCRR Global及びCRR Global Japan合同会社の登録商標です。
(<https://crrglobaljapan.com>)

株式会社ウエイクアップ
代表取締役社長 CEO
平田 淳二



推薦文

「幸福学」から見た人と組織のあるべき姿

私は、「すべての人に幸せになってほしい。すべての人は幸せになるべきだ」と考え、幸福学の研究を行っています。私たちが行った多変量解析研究によると、幸せな人の条件は、4つ。やってみよう因子(自己実現と成長)、ありがとう因子(つながりと感謝)、なんとかなる因子(前向きと楽観)、ありのままに因子(独立と自分らしさ)です。つまり、ワクワクする夢や目標を持っていて、みんなとともに、前向きに、自分らしく、それを目指している人。私が色々な形で世話になっているウエイクアップさんのミッションは、なんと、私が推進している幸せの条件と同じです。

想像してみてください。世界中の70億人が、生き生きとそれぞれの意識の進化を楽しみ、70億通りの夢と目標を見つけ、みんなを支え合い、助け合い、愛し合っている世界を。そんな世界を創るのは、私たち自身です。みんなで手を取り合って、みんなが生き生きと生きる幸せな今と未来を創りましょう。

慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科

前野 隆司 教授



世界標準の3つのアプローチ

ウエイクアップは3つの智慧のシナジーによって、個人と組織の“Quality of Leadership®”が高まることを支援します。

コアアクティブ・コーチング®

CTIのコアアクティブ・コーチング®、リーダーシップ・プログラムは世界で20か国以上、約65,000名に利用されています。

システムコーチング®

人間関係に対する最先端のアプローチ、システムコーチング®は世界23か国、約7,500名に利用されています。

システムコーチング®は、CRR Global Japan合同会社の登録商標です。より詳しくお知りになりたい方は、CRR Global Japanのホームページをご覧ください。<https://crrglobaljapan.com>

TLC(360°)

リーダーが周囲に与えているインパクトを自覚するためのツール、ザ・リーダーシップ・サークル(The Leadership Circle®)は世界で160か国、約10,600社、約63,000名に利用されています。

LCP(リーダーシップ・サークル・プロフィール™)は、The Leadership Circle®によって開発・所有されています。より詳しくお知りになりたい方は、TLCのホームページをご覧ください。<https://leadershipcircle.com>

経営課題は 「よりよく変わろうとしている」サイン

ビジネスの現場にある経営課題は組織や個人が
「よりよく変わろうとしている」サインであり、
「よりよく変わる」チャンスでもあります。
課題の核心をとらえ、
解決に向けての根本的かつ現実的な行動を実践し、
継続することで、個人や組織の
“Quality of Leadership®”が高まるのです。
ここでは、お客様からよくご相談いただく経営課題と、
解決に向けての視点をご紹介します。



Questions & Solutions



01

エグゼクティブの意思決定と行動をサポートしたい

重要な意思決定を担うエグゼクティブが、自らその在り方を整えておくことは極めて重要です。

LCP (リーダーシップ・サークル・プロフィール™)
エグゼクティブ・コーチング

自らの癖や行動パターンを自覚し、意図するインパクトを生み出せる力はリーダーにとって極めて重要です。コーチと共に行動と学習を繰り返す、「Quality of Leadership®」を高めていくことは、今やリーダーにとって必須の要件と言えます。



04

チームを機能させたい

それぞれの立場からの「言い分」の背景や理由を共有し、その声を「自分たち」のものとして自覚することから始めます。

システムコーチング®

チームが機能しない理由の1つに「こうすべきだ」「こうなって欲しい」という期待や思い込みが互いにあるにも関わらず、それが表出されないことがあります。チームには、まず本音で語れる「場」が必要なのです。そこから安心と一体感が生まれ始め、自分たちの目標に向かって自走するチームが育っていくのです。



06

組織診断の結果が悪い。さて、次の一手は？

組織診断の結果は、組織への期待の表れ。結果の背景にある期待、想いを本音で語り、共有することが大切です。

システムコーチング®

組織診断結果の背景にある期待、想いについて、役割・立場を超えて本音で語り、共有することが大切です。それが現実を「自分たち」の問題として自覚することに繋がります。そして「本当はこんな組織にしたい」「自分ができることから始める」と「自分たち」の問題を「自分たち」が解決する組織ができていくのです。

02

次世代リーダーを育てたい

リーダーたちの視座を高め、成長を支援するには「個人」と「チーム」両面に対するアプローチが必要です。

システムコーチング® フォロワー
パーソナル・コーチング

「次世代リーダー育成に取り組んでいるが、何かが足りない」との声を数多くいただきます。次世代リーダーを育成するためには、彼/彼女たちが「チーム」として視座を上げ、世界、社会、事業環境に意識を向け、何を軸としてどのような変革を起こすのかを自ら主体的に決断し、それを継続的に支え合う場が必要です。

05

会社方針を浸透させたい

トップ、現場それぞれが自分事として向き合い、考える機会の有無が方針の浸透度合いを左右します。

エグゼクティブ・コーチング
システムコーチング®

「方針が現場の行動に落ちていないのではないか」その原因はトップか現場のいずれか一方ではなく、両方にあります。しかし、トップも現場も原因の一端が自分(たち)にあるとは気づいていないことがほとんどです。トップ、現場それぞれが本音で語り、自らの行動を選択することを通して、組織が一つになり、大きく動き出すのです。

07

企業内コーチを育成したい

企業内コーチが有効に機能するためには、企業内コーチ自身が自身の役割と癖に自覚的であることが大切です。

コアアクティブ・コーチング®
トレーニングプログラム

知識・経験が豊富な方であるほど、自らの「答え」に社員を誘導してしまうことが、多々あります。そのため企業内コーチが有効に機能するためには、企業内コーチ自身が自身の役割と癖に自覚的であることが大切です。スキルだけでなく、思い込みやコミュニケーションの癖を自覚し、自身への理解を深めることが必要なのです。



03

部下のやる気を引き出したい

上司本人が部下をどう見ているかを「自覚」し、意図的に協働関係を作り上げることから始めることが重要です。

RA (Relationship Agility®)
CAO (Co-Active® Approach For Organization)

部下が「何を話しても聞いてもらえない」「どうせ認められない」と感じると、やる気を低下させてしまいます。「初めて話したいことが話せた」「やってみていたことを口にすることができた」と部下が感じられるには、上司の部下に対する意識の向け方から変化させていく必要があります。

Services サービス

● パーソナル・コーチング

1対1で行うコーチング。表面化している課題に対する効果的なアプローチをデザインすることに加え、その課題の根本にある内面的な部分に焦点をあてることで、「本質的な変化」の実現を支援。

● エグゼクティブ・コーチング

エグゼクティブ層に対して1対1で行うコーチング。自ら周囲に発しているインパクトを視覚的に捉え、その奥にある思い込みに気づき、新たな行動を継続的に起こすことで「本質的な変化」をもたらす。

● システムコーチング®

チームに対して行うコーチング。全員が居立ちできる共通の目的について合意し、その実現に向けた全員で取り組む具体的な行動の実践を支援。

● RA (Relationship Agility®)

部下やプロジェクトメンバーとの関係性に対する当事者意識を高め、「組織運営力」を高めるコーチングスキルを理解・体得する実践型トレーニングプログラム。

● CAO (Co-Active® Approach For Organization)

ビジネスに必要なコーチングスキルを理解・体得する実践型トレーニングプログラム。全世界で20か国以上約65,000人、日本だけでも10,000人を超える人が受講しているプログラムをビジネス向けにカスタマイズ。

● LCP (リーダーシップ・サークル・プロフィール™)

個人のリーダーシップの発現度を測定する360度アセスメントツール。

● コアアクティブ・コーチング® トレーニングプログラム

世界で初めて国際コーチ連盟に認定され、20か国以上で行われている実践型コーチングトレーニングプログラム。

Member introductions



平田 淳二
代表取締役社長 CEO



小西 勝巳
取締役 CXO



山田 希
取締役 CFO



島村 仗志
取締役シニアフェロー



久慈 洋子
E&I センター長



伊藤 貴子
シニアコンサルタント



伊藤 哲朗
シニアコンサルタント



植田 裕子
シニアコンサルタント



川添 香
シニアコンサルタント



斎藤 豊
シニアコンサルタント



鋤柄 淳一
シニアコンサルタント



橋本 博季
シニアコンサルタント



原口 裕美
シニアコンサルタント



山川 広美
シニアコンサルタント

Company Profile

法人名	株式会社ウエイクアップ
所在地	〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-3-16 西五反田 8 丁目ビル 3 階
電話番号	03-5436-1061 (代表) 03-5436-1062 (CTI ジャパン) 03-5436-1068 (法人窓口) 03-5436-1069 (E&I センター)
Mail	info@wakeup-group.com
設立	2008 年 12 月
資本金	1000 万円 (2021 年 10 月現在)
代表者	平田淳二 (代表取締役社長 CEO)
運営事業	シーティーアイ・ジャパン (CTI ジャパン)

Company History

2000 年 5 月	コーチングのトレーニングコースを日本で初開催
2000 年 7 月	有限会社シーティーアイ・ジャパン設立
2004 年 4 月	有限会社シーティーアイ・ジャパンを株式会社に改組
2008 年 12 月	株式会社ウエイクアップを設立
2009 年 1 月	株式会社シーアールアール・ジャパン設立
2011 年 2 月	株式会社ザ・リーダーシップ・サークル・ジャパン設立
2014 年 10 月	株式会社シーティーアイ・ジャパン、 株式会社シーアールアール・ジャパン及び 株式会社ザ・リーダーシップ・サークル・ジャパンを 株式会社ウエイクアップへ統合
2014 年 12 月	東京都品川区大崎にセミナールームを開設
2018 年 11 月	TLC 事業を TLC アジアパシフィックへ移管
2019 年 6 月	CRR 事業を CRR Global Japan 合同会社へ事業譲渡
2020 年 10 月	小西勝巳、平田淳二、山田希が取締役に就任
2021 年 2 月	東京都品川区西五反田にオフィス及びセミナールームを移設
2021 年 9 月	島村仗志が代表取締役社長を退任
2021 年 10 月	平田淳二が代表取締役社長 CEO に就任
2021 年 10 月	島村仗志が取締役シニアフェローに就任

WAKE UP

<https://wakeup-group.com>

株式会社ウエイクアップ

〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-3-16 西五反田 8 丁目ビル 3 階

Tel : 03-5436-1061 Fax : 03-5436-1065